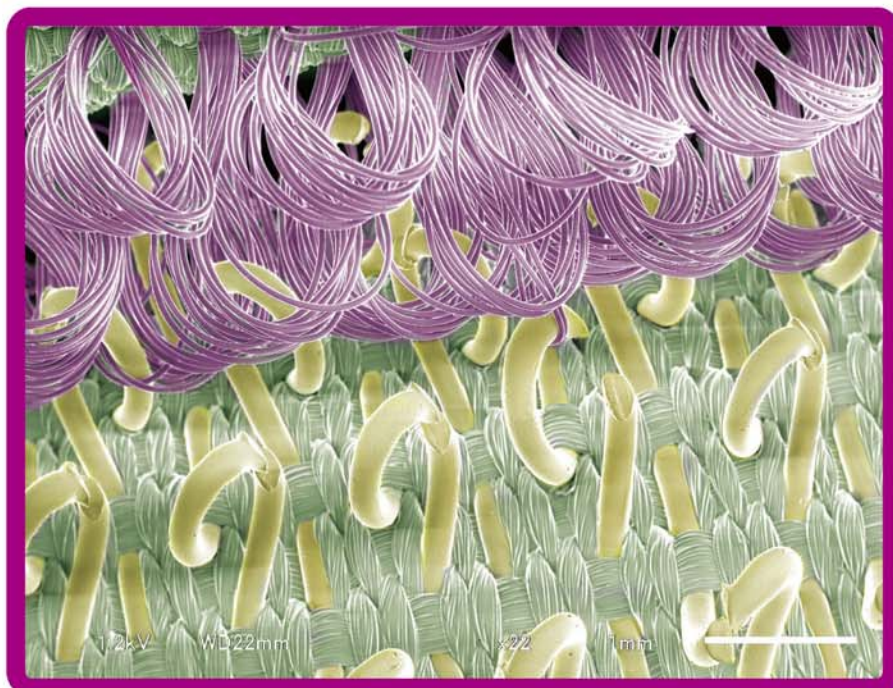
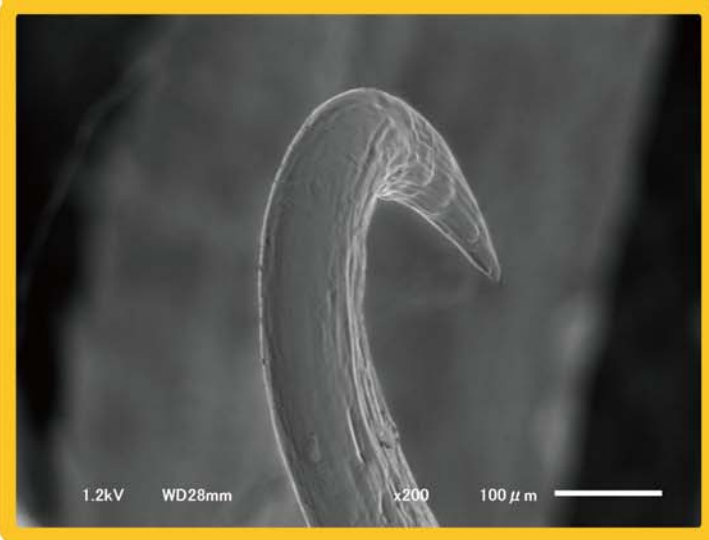
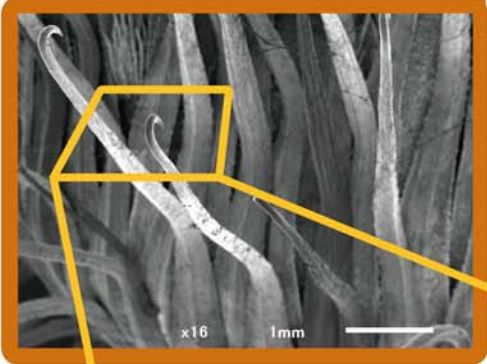


BIOMIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー



バイオミメティクス (Biomimetics) は、生物模倣技術と訳します。

「カの口を模倣した痛くない注射針」「サメの皮膚を模倣した水抵抗の少ない水着」「ヤモリの指先を模倣した粘着テープ」、さまざまな分野での新技術の応用と商品開発がなされています。生物は、5億年の自然選択によって、人が頭で考えるデザインよりも優れたデザインを獲得しています。

博物館には多くの生物標本が収蔵されていますが、標本を工学者の設計デザインの視点から見直すとどうなるでしょう。

生物学者では解けなかった自然の造形美の意味が解き明かされるかもしれません。そして生物のデザインからアイデアを得て新しい技術が生まれるかもしれません。

動植物の持つ能力や形・機能などの特性を把握し、そこからヒントを得て人工的に設計・合成・製造するのが「生物規範工学」です。

生物学と工学と博物館を結ぶ、**バイオミメティクス市民セミナー**では、生物学者と工学者が、新しい視点で生物の見方を紹介します。

会場：北海道大学総合博物館／知の交流コーナー
時間：午後1時30分から午後3時30分

セミナー 34： **2014年10月5日 (日)**

平井悠司 (千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科 専任講師)
「微細構造による機能 ～摩擦を中心に～」

セミナー 35： **2014年11月1日 (土)**

山崎英数 (富士フイルム株式会社
R&D 統括本部生産技術センター 統括マネジャー)
「モノづくりとバイオミメティクス」

セミナー 36： **2014年12月6日 (土)**

小林俊一 (信州大学 学術研究院 教授)
「水生生物の泳ぎを規範とした水中推進ロボット」

セミナー 37： **2015年1月10日 (土)**

石原一彦 (東京大学大学院工学系研究科 教授)
「生体構造を模倣した身体に優しい医療デバイス」

セミナー 38： **2015年2月7日 (土)**

吉澤和徳 (北海道大学農学部 准教授)
「ミメティクスおもしろネタの源としての昆虫分類学、形態学」

セミナー 39： **2015年3月7日 (土)**

椿 玲未 (独立行政法人 海洋研究開発機構
ポストドクトラル研究員)
「海洋生物とバイオミメティクス」

主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」
協賛：高分子学会北海道支部
千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp